

TYPE I
A3

相手の話の目的や意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができる

話の内容に対する聞き方を工夫することに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、本問を活用し、提案の内容に対する聞き方を工夫することについての指導事例を紹介いたします。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

A3 聞き方を工夫する

A3 正答率 **53.2%** 聞き方の説明として適切なものを選択する

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 工

授業アイデア例

A3における誤答傾向

<p>【青木さんの心の中の声】</p> <p>A そうじに対する取り組みの問題点などをともに、提案しているんだな。</p> <p>B 六年生は、「さっと取りかかり」と「すみずみまで」については、あまりできていないような気がするわ。</p> <p>C 低学年にも分かりやすいな。これなら、そうじのときに合い言葉として声をかけ合うことになるだろうから、きっと効果が上がるわ。</p>	<p>聞き方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。 	<p>誤答傾向①</p> <p>Bの説明として1と解答していないものが39.5%であることから、提案の内容と自分たちの様子とを重ね合わせて聞くことができていない。</p> <p>誤答傾向②</p> <p>Aの説明として3と解答していないものが25.0%であることから、提案の理由に着目して聞くことができていない。</p>
--	---	--

話の内容に対する聞き方を工夫することについて指導することが大切です。

ポイント

本問を活用した指導事例：「美化委員会からの提案について、聞き方を工夫して話を聞こう」

学習活動1 提案を聞き、大事だと思ったことや考えたことを各自ノートに書く

■ 美化委員会からの提案について、既習事項を基に話の中心に気を付けて聞き、大事だと思ったことや考えたことをノートに書く。

「さ・し・す・せ・そ」という合い言葉は、覚えやすいと思う。

私も、そうじ中におしゃべりしているときがあった。

そうじを一生懸命にやっていないから、合い言葉を提案したと思う。

学習活動2 各自ノートに書いた自分の考えを発表し合い、分類・整理する

■ 各自ノートに書いた自分の考えを発表し合い、互いの考えを比べ、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、「聞き方のポイント」としてまとめる。

ポイント

「聞き方のポイント」について指導する際には、次のような発問が考えられます。

ポイント①「どのようなことを基に、どのようなことを提案しているのかを考えながら聞きましょう。」

ポイント②「提案を自分の知っていることや経験したことと比べながら聞きましょう。」

ポイント③「提案に対して疑問をもったり、目標を達成することができるかを評価したりしながら聞きましょう。」

学習活動3 「聞き方のポイント」に気を付けてもう一度提案を聞き、自分の聞き方を振り返る

■ 自分の聞き方を振り返り、聞き方の工夫についての自分の課題を捉え、日常生活においても意識できるようにする。

本授業アイデア例 活用のポイント!

● 聞くことの能力は、学習した知識・技能を繰り返し用いたり、実際の生活場面において使いこなす機会を多くもったりすることによって身に付けることができることから、年間指導計画に意図的・計画的に位置付け、確実に指導することが大切です。